

平成21年度 長崎県立佐世保西高等学校 学校評価表（自己評価）

校訓	「自主自律」・「積極敢為」・「親和協調」
学校教育方針	(1)教職員の不断の研修と生徒の真摯な学習により、明瞭で節度ある学校を創る。 (2)日々の教育活動を通して人格の陶冶及び能力の開発伸張を図り、社会に貢献する人材を育成する。
学校教育目標	(1)日々の教育活動を通して校訓の発揚と具現化に努める。 (2)知育、徳育、体育の三育を推進し、心身ともに健全で逞しい人材を育成する。 (3)自主的、積極的に学ぶ姿勢を醸成し、自主自律の精神を育てるとともに生徒一人一人の進路目標を達成する。 (4)生徒と教師間の心のふれあいを深め、清新洗練とした校風を樹立する。 (5)人間の尊厳を重んじ、人権尊重の意識を高めるとともに人権教育を進める。
本年度の努力目標	(1)学力の向上と進路目標の実現 (2)自主自律・積極敢為・親和協調の精神を高める学級活動や生徒会活動等の推進 (3)豊かな人間性を育み、一人一人を大切に生徒指導と教育相談の推進 (4)健康・安全教育の推進 (5)保護者・中学校・地域社会との連携 (6)学習環境の整備と環境保全の推進

評価 4：十分達成している 3：おおむね達成している  
2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない

【評価分野】① 学校経営										
評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	No.	選 択 率					評価
					4	3	2	1	無	
学校教育方針	学校教育方針の具現化	学校実態に即した学校教育方針が設定され、教師間の理解のもと、学校教育方針の具現化を図る	前年度の評価結果を生かした適切な重点目標を設定する	1	19.6	69.6	10.7	0.0	0.0	3.1
学校教育目標	学校教育目標の具現化	学校教育目標が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う	学校教育目標の教員・生徒への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する	2	17.9	66.1	16.1	0.0	0.0	3.0
本年度の努力目標	本年度の努力目標の具現化	本年度努力目標に沿った教育活動を行う	本年度努力目標の職員・生徒への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する。	3	21.4	69.6	8.9	0.0	0.0	3.1
学年経営	学年目標の具現化	学校教育目標に沿った学年経営を行う	学校教育目標に沿って学年の実態に応じた学年目標を設定し、学年経営を行う	4	28.6	55.4	16.1	0.0	0.0	3.1
学級経営	学級目標の具現化	学年の教育目標に沿った学級経営を行う	学年目標に沿って学級目標を設定し、学級経営を行う	5	25.0	62.5	10.7	1.8	0.0	3.1

【評価分野】② 教育活動										
評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	No.	選 択 率					評価
					4	3	2	1	無	
教育課程の編成	創意工夫を凝らした教育課程の実施	「進学重視型単位制」導入にかかる2学期制及び特色づくりの研究実践に取り組む	進学体制及び2学期制の運用を図る	6	26.8	53.6	19.6	0.0	0.0	3.1
			教育課程のさらなる検討を重ねる	7	28.6	55.4	16.1	0.0	0.0	3.1
教科指導	日々の授業の充実	指導方法の創意・工夫をする	日々の授業を重視し、習熟度別授業をはじめとする効果的授業を展開する	8	28.6	60.7	10.7	0.0	0.0	3.2
			中学校教育の実情を把握し、中高の接続を踏まえた指導をする	9	7.1	50.0	41.1	1.8	0.0	2.6
			年間を見通した学習計画、各教科のシラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する	10	19.6	55.4	25.0	0.0	0.0	2.9
			各教科の日々の課題や家庭学習で取り組むべき内容をはっきりと指示する	11	23.2	67.9	8.9	0.0	0.0	3.1
			課題の提出期限を厳守させるとともに、提出しない生徒への指導を徹底させる	12	25.0	60.7	12.5	1.8	0.0	3.1
			各教科の小テスト・早朝テストの不合格者に対する手だてを十分行う	13	16.1	60.7	21.4	1.8	0.0	2.9
			難関校受験希望者に対する対策を1年次から実施する	14	7.1	46.4	37.5	7.1	1.8	2.5
			成績不振者や得意科目を抱えている生徒への個別指導を強化する	15	16.1	46.4	26.8	7.1	3.6	2.7
教科重点目標の達成	各教科ごとの重点目標を明確にして、基礎基本の徹底と学力の向上を図る	重点目標								
		【国語】課題の取り組み、提出を徹底させる	16	8.9	19.6	1.8	0.0	69.6	3.2	
		【地理歴史】自主教材を開発し、効率的で効果的な指導を行う	17	12.5	8.9	7.1	0.0	71.4	3.2	
		【公民】生徒の興味関心並びに知識理解の実態把握を行う	18	5.4	16.1	0.0	0.0	78.6	3.3	
		【数学】確認テストを時期に応じて実施し、その定着を確認する	19	10.7	23.2	3.6	0.0	62.5	3.2	
		【理科】各週末に課題を課し、提出状況をチェックすることで家庭学習の定着を目指す	20	3.6	26.8	1.8	0.0	67.9	3.1	
		【保健体育】生活の基盤となる体力の増進を図るため、体育授業時にサーキットトレーニングを取り入れる	21	12.5	14.3	1.8	0.0	71.4	3.4	
		【芸術】授業を中心として知性・感性を磨き、芸術を愛する心情を育てる	22	7.1	10.7	3.6	0.0	78.6	3.2	
		【英語】語彙力を高めるために、単語テストを実施する	23	16.1	14.3	3.6	0.0	66.1	3.4	
		【家庭】生徒の現状に即した実験・実習や体験学習を行う	24	5.4	14.3	1.8	0.0	78.6	3.2	
【情報】日常生活に即した実習や調査等の実践的学習を行う	25	5.4	14.3	1.8	0.0	78.6	3.2			

	家庭学習の充実	家庭学習を充実させる	「学習の記録」、「生活の記録」を活用し、きめ細かな指導や学習意欲を増やす取り組みをする	26	23.2	57.1	16.1	1.8	1.8	3.0
			家庭学習時間を平均3時間以上を確保させる	27	12.5	48.2	30.4	7.1	1.8	2.7
			適切な課題の質・量の研究をする	28	30.4	60.7	5.4	0.0	3.6	3.3
	適切な学習評価	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う	年度当初に担当教師間で評価規準を話し合い、共通理解のもとで評価を行う	29	37.5	46.4	10.7	1.8	3.6	3.2
			課題提出状況、小テスト等の考査以外の観点も評価に加え、多面的に評価する	30	41.1	53.6	5.4	0.0	0.0	3.4
			インターネット、シラバス、大学の先生による学部説明会・関東研修旅行・大学オープンキャンパス参加等を参考にして、各自の進路にあった学部学科研究をさせる	31	28.6	53.8	17.9	0.0	0.0	3.1
総合的な学習の時間	ねらいが明確で創意工夫を凝らした学習活動	「総合的な学習」を進路指導の一環として効果あるものにするために取り組む	年間計画に基づいたHR計画を立て事前準備を行い、活発なHR活動を展開する	32	16.1	50.0	30.4	0.0	3.6	2.9
			各種委員会と生徒会執行部との連携を強め、自主的・自立的な生徒会活動を目指す	33	16.1	62.5	17.9	1.8	1.8	2.9
			学校行事への積極的参加	34	50.0	46.4	3.6	0.0	0.0	3.5
特別活動	HR活動の充実	生徒に自発的・自主的な活動を活発に行わせる	朝のSHRや授業開始時に男子のスポン・女子のスカート・髪を中心に服装指導を全職員で徹底する	35	7.1	42.9	41.1	7.1	1.8	2.5
			校内・外の巡視を行い、違反服装の生徒に対し毅然とした態度で指導にあたる	36	14.3	44.6	33.9	5.4	1.8	2.7
			登校指導を実施し、遅刻防止指導や服装指導を行う	37	41.1	48.2	8.9	0.0	1.8	3.3
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	生徒理解に基づき全職員できめ細かい生徒指導に取り組む	外来者に80%以上の生徒があいさつする	38	26.8	55.4	16.1	0.0	1.8	3.1
			15分間の清掃を毎日全職員で監督・指導にあたる	39	23.2	62.5	10.7	3.6	0.0	3.1
			気になる生徒や生徒の変化について学年会・担任会で情報交換をする	40	35.7	60.7	3.6	0.0	0.0	3.3
問題行動の未然防止	問題行動を未然に防止する	家庭及び関係機関との連携を密にとる	下校指導を実施し、下校時の安全意識の啓発に努める	41	23.2	64.3	10.7	0.0	1.8	3.1
			薬物乱用防止教室を実施し、生命尊重の精神を醸成する	42	25.0	58.9	10.7	3.6	1.8	3.1
			特別顧問授業を実施させ、記述力のレベルアップを図る	43	32.1	60.7	7.1	0.0	0.0	3.3
安全教育の徹底	安全意識を高め生命尊重の精神を養う	朝のSHRや授業開始時に男子のスポン・女子のスカート・髪を中心に服装指導を全職員で徹底する	校内・外の巡視を行い、違反服装の生徒に対し毅然とした態度で指導にあたる	36	14.3	44.6	33.9	5.4	1.8	2.7
			登校指導を実施し、遅刻防止指導や服装指導を行う	37	41.1	48.2	8.9	0.0	1.8	3.3
			外来者に80%以上の生徒があいさつする	38	26.8	55.4	16.1	0.0	1.8	3.1
進路指導	進路指導の充実	職業研究・学部学科研究を充実させ、進路意識の高揚を図る	進学先のシラバス、インターネットの情報検索により、的確な進路情報を得ると共に、生徒に自己の能力・適性・興味等を的確に把握させる	44	12.5	67.9	14.3	0.0	5.4	3.0
			LHRや「総合的な学習の時間」を活用し、職業研究や学部学科研究を計画的に実施する	45	17.9	62.5	14.3	0.0	5.4	3.0
			大学情報誌等の充実を図り、生徒の利用率を向上させる	46	8.9	60.7	23.2	1.8	5.4	2.8
健康・安全教育	健康や安全に関する態度・能力の育成	自分の健康状態を把握し、保健知識をもとに、自分の健康を自分で管理できるようにする	学習指導を充実させるために、個人面談を学期に2回以上実施する	47	32.1	50.0	14.3	0.0	3.6	3.2
			高大連携、教育実習生による講話、卒業生による合格体験講話等を充実させる	48	12.5	53.6	32.1	0.0	1.8	2.8
			2次対策（教科・小論文指導）を充実させる	49	25.0	66.1	3.6	0.0	5.4	3.2
人権・平和教育	人権・平和教育の充実	人権の尊重、平和の大切さに関する様々な問題を認識させ、人権尊重の精神を養う	低学年から定期的に小論文講演会・小論文模試を実施し、分野別指導を徹底させる	50	28.8	51.8	16.1	0.0	5.4	3.1
			大学別オープン模試の参加者を増やし、成績を進路判定の資料として活用する	51	28.6	48.2	16.1	0.0	7.1	3.1
			健康診断の結果をもとに受診指導・受診報告の徹底を図る	52	23.2	55.4	16.1	0.0	5.4	3.1
教育相談	不登校・相談室登校生徒への支援	相談体制の充実を図り、最も適した対応策・支援態勢を確立する	「保健だより」の発行と保健講話の実施により保健知識の普及を図る	53	30.4	57.1	8.9	0.0	3.6	3.2
			人権教育の指導力を高めるための研修会への参加を増やす	54	28.6	46.4	16.1	1.8	7.1	3.1
			差別・偏見をなくす人権・同和教育を推進する	55	21.4	51.8	19.6	1.8	5.4	3.0
心の教育の時間	相手を思いやるなどの豊かな心の育成	新入生合宿で、生徒・教師の間のふれあいを図る	人権教育・平和教育を実施し、理解を深める	56	26.8	57.1	10.7	0.0	5.4	3.2
			相談委員会を定期的に開き、全校的立場に立った指導と対策を協議する	57	26.8	64.3	5.4	0.0	3.6	3.2
			共通理解のもとに、不登校・相談室登校生徒の回復支援体制の確立に努める	58	23.2	60.7	12.5	0.0	3.6	3.1
スポーツと文化活動の振興	部活動の活性化	部活動に積極的に参加させる	心理検査や「悩み・いじめ」アンケート調査等の活用により、問題を抱える生徒の早期発見に努める	59	26.8	66.1	3.6	0.0	3.6	3.2
			学年・担任・養護教諭・専門医との連携を密にし、悩みを抱える生徒への面談を実施し早期対応に努める。また学校医による健康相談を定期的に実施する	60	26.8	64.3	5.4	0.0	3.6	3.2
			「相談部だより」を定期的に発行して情報提供すると共に生徒の自己理解を深める。また、専門家による職員向け講話を実施し心の問題の啓蒙を図る	61	32.1	57.1	7.1	0.0	3.6	3.3
心の教育の時間	相手を思いやるなどの豊かな心の育成	教育講話を通し、心の在り方を考えさせる	佐世保西高生としての自覚を高め、師弟同行の活動を通し、生徒どうし、生徒・教師間の信頼関係を構築する	62	21.4	64.3	14.3	0.0	0.0	3.1
			職員講話を通し、生き方を考えさせる	63	14.3	58.9	25.0	0.0	1.8	2.9
			豊かな経験に基づいた生き方・考え方について、生徒の心に迫る講話をする	64	14.3	42.9	33.9	5.4	3.6	2.7
スポーツと文化活動の振興	部活動の活性化	部活動に積極的に参加させる	部活動が人間形成に果たす意義について認識させ、部活動への参加を奨励する	65	23.2	69.6	5.4	1.8	0.0	3.1
			学級担任と部活動との連携を密にする	66	12.5	55.4	32.1	0.0	0.0	2.8

体験学習	体験学習の充実	国際人としての素養を涵養させる	学習との両立のため、下校時間を厳守する指導を徹底させるとともに、顧問が学習を奨励する	67	26.8	50.0	17.9	5.4	0.0	3.0
		進路選択の参考にさせる	異文化理解に目を向け、国際的視野を身に付けさせる	68	7.1	46.4	39.3	5.4	1.8	2.6
		奉仕精神を涵養させる	進路選択に資するため、大学や企業訪問等の研修の充実を図る	69	25.0	53.6	19.6	0.0	1.8	3.1
			ボランティア活動の活性化を図る	70	8.9	67.9	23.2	0.0	0.0	2.9
読書指導	図書館利用の推進と読書指導の定着	魅力的で利用しやすい学校図書館運営を工夫し、読書指導を推進する。	「図書館オリエンテーション」実施や「新着図書案内」の発行により図書館利用の利便性を図る	71	23.2	66.1	7.1	0.0	3.6	3.2
		朝の10分間読書を通し、自ら学ぶ心を育てる	自ら学ぶ心、自ら学ぶ力を育成する読書指導として日課に位置づけ、学校をあげて取り組む	72	16.1	66.1	14.3	1.8	1.8	3.0

【評価分野】③ 組織運営

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	No.	選択率					評価
					4	3	2	1	無	
校務分掌	適切な役割分担・組織的な活動と運営	各自の役割分担が明確であり、適切に仕事を処理する	分掌、学年、教科等の役割分担と連絡調整を行い、学校全体の業務を円滑に実施する	73	23.2	57.1	19.6	0.0	0.0	3.0
			前年度の評価に基づき、各分掌の課題を明確にし、その解決を図る	74	16.1	69.6	12.5	1.8	0.0	3.0
各種委員会	目的に応じた適切な委員会の設置と運用	各種委員会の活動の効率化と活性化を図る	各種委員会での話し合いの結果を、教育活動や学校経営に生かす	75	19.6	58.9	19.6	1.8	0.0	3.0
校内研修	研修体制の確立と実践	校内研修の活性化を図る	各教科で年間1回以上公開授業を実施する(初任者を除く)	76	32.1	53.6	8.9	5.4	0.0	3.1
			初任者研修及び教育実習を計画的・組織的に実施する	77	32.1	58.9	7.1	1.8	0.0	3.2
			校内における職員研修会を年3回以上実施する	78	35.7	57.1	7.1	0.0	0.0	3.3
現職教育	教職員の資質向上への取り組み	研修に積極的に参加する	教育センター等の各種公的な研修会へ積極的・計画的に参加し、資質の向上を図る	79	12.5	57.1	25.0	1.8	3.6	2.8

【評価分野】④ 教育環境

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	No.	選択率					評価
					4	3	2	1	無	
学校環境の整備	潤いのある生活環境の整備	日々の清掃を徹底し、美化意識を高める	清掃・美化へ自主的に取り組ませる	80	17.9	64.3	17.9	0.0	0.0	3.0
			施設設備を大切にすることを育成する	81	12.5	71.4	16.1	0.0	0.0	3.0
施設・設備の管理	施設・設備の整備、活用、安全、管理	施設・設備の有効な活用を図り、安全点検等の管理を適切に行う	施設の再整備とその後の利用を推進する	82	10.7	67.9	19.6	0.0	1.8	2.9
			教室の効果的利用を図る	83	8.9	73.2	16.1	0.0	1.8	2.9
情報インフラの整備・充実	教育活動全般の情報化と各種情報の保守管理	教育活動全般において「情報」の有効活用を図ると共に各種情報の保守管理のシステム整備を図る	教育活動、校務処理等において校内LANを含めた情報機器を有効に活用する	84	16.1	62.5	21.4	0.0	0.0	2.9
			「情報」に関する職員、生徒への研修等を実施することにより情報リテラシーを高める	85	19.6	62.5	16.1	0.0	1.8	3.0

【評価分野】⑤ 開かれた学校作り

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	No.	選択率					評価
					4	3	2	1	無	
保護者との連携	PTA活動の充実	生徒に関する情報交換を密にする	生徒の状況について、学校と保護者が緊密に連絡し、情報提供を行う	86	21.4	67.9	10.7	0.0	0.0	3.1
			育友会活動を活性化し、積極的活動を図る	87	16.1	62.5	19.6	0.0	1.8	3.0
同窓会活動	同窓会活動の活性化	福岡支部、関東支部の設立に取り組む	関東研修旅行時の同窓会人材バンクをもとに福岡支部、関東支部設立を働きかける	88	5.4	44.6	33.9	0.0	16.1	2.7
地域や関係機関との連携	学校間連携の充実	他校や異校種と連携を深める	近隣地域の高校、中学校等との情報交換や連携を図る	89	12.5	53.6	30.4	1.8	1.8	2.8
			学校説明会を積極的に開催する	90	30.4	58.9	10.7	0.0	0.0	3.2
	地域との連携の充実	学校評価の実践と中学校や保護者・地域との連携を深める	中学生の体験入学参加者を前年比増にし、西高の特色を理解させる	91	26.8	62.5	8.9	0.0	1.8	3.2
			中学校訪問等を通じて情報交換を図り生徒指導に役立てる	92	16.1	55.4	23.2	0.0	5.4	2.9
			佐西高等学校だより「田原台の風」を毎月発行し、学校の教育方針や具体的活動についての情報をホームページ等により定期的に提供する	93	42.9	55.4	1.8	0.0	0.0	3.4
			学校は地域とともにあることを認識し、学校行事等を地域へ公開するなど、相互協力の体制をつくる	94	28.6	62.5	8.9	0.0	0.0	3.2
外部講師の活用	外部講師の活用を図る	保護者や卒業生を、LHRや総合的な学習の時間等の外部講師等として積極的に活用することにより、教育効果を高める	95	16.1	55.4	23.2	3.6	1.8	2.9	

【評価分野】⑥ 生徒の教育効果

評価項目	具体的項目	目標	No.	選択率					評価	
				4	3	2	1	無		
豊かな人間性	社会性の育成	社会のルールを遵守し、他と協力して行動できる	時と場所に応じた態度や、節度ある規則正しい生活態度が身に付いている	96	16.1	73.2	8.9	1.8	0.0	3.0
			基本的な生活習慣の確立	97	12.5	71.4	16.1	0.0	0.0	3.0
学力の定着・向上	基礎基本の定着と応用力の育成	予習復習を徹底して行い、授業・講座・課題等に積極的に取り組む	98	7.1	55.4	37.5	0.0	0.0	2.7	
健康・体力	自主的な健康管理	自らの健康を自主的に保持し、管理することができる	99	12.5	76.8	10.7	0.0	0.0	3.0	